

青木村消防団広報

KODAMA

No. 22

発行所／青木村消防団 〒386-1601 長野県小県郡青木村大字田沢111 TEL.0268-49-0111
発行責任者／若下竜太郎 編集／青木村消防団本部班

発行：平成28年10月1日

青木村消防団によせて

青木村消防団長 若下竜太郎



本年度も約半分が過ぎました。春先に新しい役員とともに本部として青木村消防団をもちたてるべく、多くのことを話し合い、行ってきました。諸先輩方から受け継いだ当村消防団には数々の輝かしい歴史があります。その歴史の上に新しい消防団を築き上げようと模索しています。世の中の情勢が日々変化していく中、当消防団も今までは違う視点から村を守るべく努力してまいります。

とはいえ、災害から自分村を守るという思いからスタートした消防団の根本理念は不変であると信じています。その為の消防技術の習得、向上は当然のことであり、今我々が考え直すべきは、その根本理念とその為の準備が一体として後人に伝えきれていないことです。一昨年消防団の新しい試みとして小学校4年生に消防団の授業を行っています。その中では消防団の成り立ちを伝えていくわけですが、その準備段階で気がかされることも多々ありました。本年度は春先の新入団員講習においても小学生の授業をもとに消防団の歴史を確認しています。このような啓蒙活動ではまだ足りないとは思いますが、自分がどんな思いで消防団に所属し、何が必要なのか、団員共々考えていきたいと思えます。

消防ポンプ操法・ラッパ吹奏大会 結果報告

第53回 青木村消防ポンプ操法大会

【小型ポンプの部】

- 優勝 第1分団
- 準優勝 第3分団
- 第3位 第2分団
- 第4位 第4分団

【自動車ポンプ部】

- 技能賞 松澤 孝則 さん



第37回 青木村消防ラッパ吹奏大会

【個人の部】

- 優勝 第1分団 相澤 良通 さん
- 準優勝 第3分団 菅原 将仁 さん
- 第3位 第1分団 片田 勇司 さん
- 努力賞 第1分団 松田 和也 さん

【団体の部】

- 優勝 第1分団 村松部
- 準優勝 第2分団
- 第3位 第3分団

第58回 長野県消防ポンプ操法大会 上小地区大会

【小型ポンプの部】

- 第6位 第3分団
- 第10位 第1分団

【自動車ポンプの部】

- 第7位 青木村消防団

第39回 上小消防ラッパ吹奏大会

【団体の部】

- 第7位 青木村消防団

【個人の部】

- 第6位 第1分団 相澤 良通 さん
- 第15位 第3分団 菅原 将仁 さん



出場された選手の皆さん大変お疲れ様でした。
また、選手を支え、ご声援をくださった御家族をはじめ地域の皆様に深く感謝申し上げます。

■第一分団

ポンプ班長 宮下 智明

合同チームで挑む2年目となる今年度は、昨年から反省点や課題の改善、成績についても昨年以上を目標に掲げ日々練習に励んだ3か月でした。

2年目ともなるとチームの団結力も強くなり、苦勞を共に重ねた仲間同士で信頼感も深まり、無事にやり遂げる事が出来ました。また、大会では悔いの無い操法が出来たのも、そんな仲間と共にいたからこそだと思っています。さらに、その陰には家族や多くの関係者の皆様の力なしではそんな感動も生まれることはなかったと思います。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



第1分団ポンプ操法



第3分団ポンプ操法

■第三分団

機械班長 西沢 英男

今年度のポンプ操法大会を終えてみて、私が一番強く感じた事は、大会当日まで支えになってくれた、第三分団の仲間達そして家族、サポートして頂いた総ての方々への感謝の気持ちです。

この期間は、消防団活動の中では一番長期間にわたり続きます。その訓練の中で何よりも大切な仲間達との絆を作りあげることができたと思います。

大会に出場することで得た、沢山の事を消防団活動はもろろんのこと、今後の生活にも生かして、一生の財産にしていきたいと思っています。

■第四分団 青木部

ポンプ車 松澤 孝則

今年度のポンプ操法も、昨年と同じく各分団より選手を募りました。今年は初の4番員という事で今まで1番員だった自分としては心配であり、少しもどかしくなるのではという気持ちでいました。今年度集まった選手は自らが立候補した各分団からの選手が多く、指導者の方々と取り巻きの方々、各分団やOBの方々が熱心に指導を下さいました。実際に火事が起きた時を考えた操法が今年の目標でした。選手全員が自分の持つ力を最大限に発揮していました。その姿は、4番員として後ろから見ている自分が一番よく伝わりました。一人ひとり、感情的になり時にはぶつかり合う事もありました。賛否両論の意見があると思いますが、ポンプ車操法は小型ポンプより体力を使います。それでも、誰も文句一つ言わずむしろ自主練習や反省、教えを乞い、練習に打ち込んでいたと思います。自分は技能賞という賞をいただきましたが、影で支えてくれた方々、仲間のおかげだと思っています。



自動車ポンプ操法 (松澤孝則さんは青木村大会にて技能賞を受賞)

火事が起きた際になにか一番大事か考えた時、「知識、技術経験・・・」もちろんこの3つも大切だと思いますが、自分が一番大切だと思えたのは、まず消防に対する気持ちだと思います。今、青木村は現役の消防団員が急激に減り、一番経験し知識があり技術があり気持ちのある人が少なくなりました。その中で立候補をして選手になった人達の姿、思いには心打たれるものがありました。人の気持ちは人に伝わるものであり、人を動かします。今回4番員として、色々な人と関わる事ができ、また経験出来た事は心から幸せです。指導員の方々と取り巻きの方々OBの方々に支えて下さった村の方々、そして家族、本当にありがとうございました。これからも、ご理解とご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。



ラッパ団体吹奏

■第二分団

ラッパ団体指揮者

井原 敏之

数年間ラッパの選手だった経験から、消防団最後の年は、指揮者を任せられることになりました。

指揮者は初めてでしたが、選手時代に感じたことを取り込みながら練習に取り組み、大会では自分の緊張が選手に移ったり、選手の邪魔をしないように心掛けました。

少々ミスはしてしまいましたが、結果は団体2位。選手時代一緒にやった仲間が一番良い成績だったのが嬉しかったです。最後の年に良い経験をさせてもらい有難うございました。

■第一分団 村松部

ラッパ班 相澤 良通

ラッパ吹奏個人の部にて、今回で4回目の上小大会出場でした。成績は6位入賞でしたが、大会の雰囲気や生まれ完璧な演奏はできませんでした。しかし、昨年の名誉を挽回出来たと思いますし、上小の壁の厚さも感じました。

また、今年は県大会でのラッパ隊広域交流会に上小消防協会合同チームの一員として参加させて頂きました。練習期間は二週間で、合同練習できたのは4回と少ない期間でした。他の団の方々と交流を深めることができても貴重な体験をさせて頂きました。

最後に、これまでご指導ご声援頂いた青木村消防団並びに諸先輩方、村民の皆様、本当に有難うございました。そして、一番近くで支えてくれた家族に感謝しています。



ラッパ個人 相澤良通さん吹奏



ラッパ個人 菅原将仁さん吹奏

■第三分団 沓掛部

ラッパ班 菅原 将仁

個人で上小大会出場という目標を達成できぬままラッパ班を離れ4年が経ち、またラッパ班に戻る事はないであろうかと思っておりましたが、再びお話を頂き、喜んで受けさせて頂きました。

久々のラッパに苦戦しましたが、練習を重ね、念願の上小大会出場を果たす事ができました。あまりの緊張に不甲斐ない結果で終わってしまいましたが、また新たな目標を持ち、さらに努力していきたいと思えます。最後に練習期間中の活動にご理解、ご協力頂きました村民の皆様、応援して下さいました皆様に感謝申し上げます。

■第一分団 村松部

ラッパ班 片田 勇司

今年度は4年ぶりにラッパ班として活動しています。部の役員、本部役員を経験してからのラッパ班という事でいろいろな視点で見ることができました。大会の目的は技術の向上ではあります。それ以上に分団を越えての活動による、縦・横の繋がりを実感し、青木村の安心・安全に貢献していると思えます。ラッパ班の活動はまだまだ続きます。団員との絆を大切に、全力で取り組んでいきたいと思えます。

結びに、日頃の消防団活動にご理解ご協力くださいます村民の皆様、苦勞を共にする青木村消防団の仲間により感謝申し上げます。ありがとうございました。



ラッパ個人 片田勇司さん吹奏



ラッパ個人 松田和也さん吹奏

■第一分団 村松部

ラッパ班 松田 和也

今年度のラッパ班は上小大会に向けて新曲に取り組んでまいりました。

ラッパ班の皆が一丸となり訓練に臨み、回を重ねる毎に目に見えて上達していききました。興味を持って、そして何よりも皆で楽しく取り組めたのが良かったと思えます。

上小大会では訓練の成果を十分に発揮することが出来ました。また、他のチームの演奏を聴き、今後の活動に向けて大変刺激になりました。ラッパ班の仲間、応援して下さいました皆様に感謝申し上げます。



ラッパ団体吹奏

■第一分団 村松部

ラッパ団体指揮者

松田 泰彦

今年度は、2年ぶりのラッパ班の活動、そして初めての指揮者の立場で出場する不安でいっぱいスタートでしたが、団体指揮者に任命していただきました。

最初はうまくできませんでしたが、ラッパ班をはじめ諸先輩方のご指導、ラッパ班の皆さんのご協力のおかげで、すばらしい吹奏をすることができました。特に上小大会では練習以上の良い出来で、気持ちよく指揮を振ることができました。

最後に日々の消防団活動にご理解ご協力して下さる村民の皆様、応援して下さいました皆様に感謝申し上げます。

青木村消防団へようこそ！

平成28年度青木村消防団新入団員より
ひと言ずつ頂きました。



第1分団 村松部
横澤 宗徳さん

今年度から第一分団村松部に入団しました横澤です。

昨年、村松区に引越して来たところを誘ってもらいました。新しい場所で不安もあったのですが、みなさんに親切にして頂き、ご近所の方達の顔を知ることもできました。

今後は地域に貢献できるよう努めます。ご指導よろしく申し上げます



第1分団 村松部
安東 宏高さん

今年度から第一分団村松部に入団しました、安東宏高です。

地元に戻ってきた事を機に入団させて頂く事になりました。

自分が育った青木村に微力ながら貢献出来たら良いと思い入団しましたが、仕事の都合等であまり活動に参加できず先輩方にはご迷惑お掛けしています。

これからいつ起こるか分からない火事、自然災害に備え、諸先輩方にご指導頂きながら地域の方々のお役に立てる様、努めていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



第四分団 青木部
町 嵐士さん

今年度から第四分団青木部に入団しました、町です。

青木村消防団に入って日は浅いのですが、やりがいを感じながら活動をさせて頂いています。あまり活動に参加できず、ご迷惑ばかりお掛けしていますが消防団の一員として、少しでも地域の皆様のお役に立てるよう努めていきたいと思ひます。

まだわからないことだらけですが、ご指導のほど宜しくお願ひします。



本部班
清水 雄太さん

今年度より本部班に入団させていただいております清水雄太です。

わからないことが多く、皆様にはご迷惑をおかけするとは思ひますが、いち早く器具や機械操作の取り扱いを身に着け、青木村消防団の一員として迅速な対応ができるよう努めていこうと思ひます。

また、最近では自然災害等も多く、消防団として手助けできればと思ひます。ご指導のほどよろしくお願ひします。

あなたも消防団に参加しませんか？
40歳以下の方なら男女問いません。

地域の安心・安全のため共に頑張りましょう！

お問い合わせは青木村役場総務企画課（NTT・情報電話共通 49 - 0111）まで。

